

3. アラスカ州内陸部・ポーカーフラットの森林火災跡地における地温観測結果 (産総研・澤田)
4. 東シベリアの湿潤化と永久凍土環境の変化—2008年状況の報告— (JAMSTEC・飯島)
5. 赤石山脈間ノ岳の岩石氷河形成期に関する¹⁴C年代 (筑波大・池田)
6. スバルパールでの研究計画 (筑波大・渡邊)
7. 大雪山の永久凍土域と非永久凍土域の気象状態の違いについて—来年度調査計画— (北大環・前田)
8. 南極半島の周氷河環境 (低温研・森)
9. 水文研究における凍土の存在とは? (JAMSTEC・鈴木)
10. Preliminary results from “ILTS snow and ground temperature data set” (東大・末吉)
11. NICOP エクスカーションのスライドショー (北大工・岩花)
(北海道大学大学院工学研究科 岩花剛)
(2009年3月25日受付)

『日本永久凍土研究会 (Japan Permafrost Association ; JPA)』 発足のお知らせ

このたび、“Informal Seminar On Permafrost (ISOP)”を発展させた形で、日本で永久凍土の研究に従事している研究者を中心として「日本永久凍土研究会 (Japan Permafrost Association ; JPA)」を発足させました。

本会は、永久凍土・周氷河環境に関する研究をはじめとする情報を収集・交換し、永久凍土研究の啓蒙と発展を図ることを目的としています。学会の枠を越え、より広く分野から会員を募り、研究の発展をさせたいと考えております。

活動内容は、

- 1) 国際永久凍土連合(IPA)との連絡および対応
- 2) 永久凍土等の調査・研究に関する情報収集および情報交換
- 3) 永久凍土等に関する研究会および集会の開催および支援としています。

また、会員で希望する方には、IPA発行の年報「Frozen Ground」をお送りします。

本会ではより多くの方に入会していただけるよう、ご案内いたします。

なお、本会ではIPAへの日本側窓口としての働きもあり、国別負担金を納める必要があるために、会費の納入もお願いしています。会費は一口1,000円となっています(学生会員は無料です)。

まだ簡素ではありますが、以下のURLに規約を載せてあります。

http://www.myu.ac.jp/~haradak/jpa_index.html

入会希望、会費の納入方法、ならびにその他のご質問、お問い合わせは事務局・原田(宮城大学・haradak@myu.ac.jp)までお願いします。

(北海道大学大学院工学研究科 岩花剛)
(2009年3月25日受付)